

単元1 礼拝ってなあに

単元目標

神に喜ばれる礼拝ができるように導く。

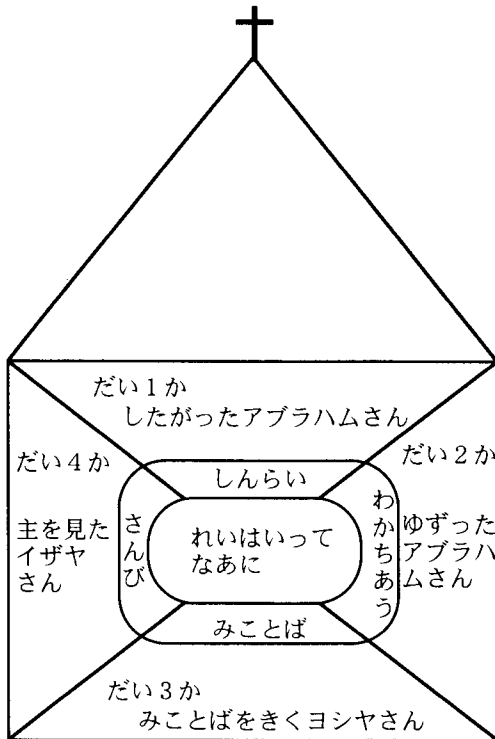
単元聖句 ヨハネ4:24

神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって、礼拝しなければなりません。

神に喜ばれる礼拝は教会や教会学校でするだけではありません。毎日の生活の中でもできます。この単元では、日常生活の中でどのように神を礼拝するかについて学びます。それによって下級生が、家庭でも教会でも真の礼拝ができるようになるでしょう。礼拝の形よりも、礼拝する人の心がどうであるか、神を神として礼拝しているかに焦点をおいて学びますので、教師である自分自身の礼拝の心を吟味しつつ、よい準備をしてください。

掲示板

神を礼拝している絵や写真をモザイクのように貼り合わせて教会の屋根に貼る。タイトルと聖句を書く。



従ったアブラハムさん

単元1 第1課

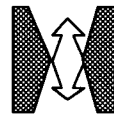
聖書 創12:1-7、使徒7:2-5、
ヘブル11:8-9

暗誦聖句 詩篇37:5

あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ。

聖書の真理

神は全く信頼できるお方です。



目標

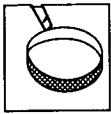
神に従うことによって神を礼拝する。

教師へ

下級生にとって、従うことと礼拝することがどんな関係があるのか、わかっていないでしょう。礼拝は教会でしている賛美や祈り、お話を聞く事と思っています。しかし、毎日の生活で神を礼拝することができます。神に従った生活によってです。その延長上に教会の礼拝があるのです。神に全く信頼して従うことは、神礼拝の道です。もし従うことなしに礼拝できると考えているとしたら、それは神を知らない考えです。従うのは単に教会学校における1時間だけではなく、毎日の生活でこそ必要です。そのことによって、私たちは神への全き信頼を表わし、神に喜ばれる礼拝へと導かれていくのです。

クラスのために準備するもの

- ・活動—色画用紙、色紙、マジック、ソングシートなど
- ・地図とアブラハムの旅行に関する聖画など
- ・カナンの土地の写真や絵
- ・乗り物の絵本
- ・現代の文明を示す写真（ビル、装飾品、車、着る物、食品など）
- ・礼拝のための六つの紙袋人形とセリフをテープに吹きこんでおく。



授業例

準備

- ・色ケントでかごの形を12個作って壁に貼っておく
- ・暗誦聖句のカード（毎週必要です）

活動 8:45～9:00

- ・部屋の飾りつけを手伝う。来た子から順に生まれ月の花を折り紙で折って、生年月日を書き、かごに貼っていく（できなかった子は後でする）

聖書の学び 9:00～9:45分（45分）

出席をとる（5分）

導入（5分）昔の旅行と今の旅行を比較する

お話（10分）アブラハムの旅行で、アブラハムは行き先を知らなかったことを強調する。

適用（10分）なぜ、アブラハムはそうしたのかを中心に、従うことによって、神をほんとうに礼拝できるようになったことを印象づける。

ワークブック（15分）

- ・聖書物語を読んで、問題をする。
- ・パズルをしてどのように従うことができるか、自分はどうかを発表する。
- ・ワークに自分のことばで書く。
- ・暗誦聖句カードを配って聖句を書き、意味を説明しておぼえさせる。

礼拝 9:45～10:00

賛美 テーマ曲（はじめてなら、何回か練習する）

祈り（教師）

お話「ほんとうの礼拝」紙袋人形でする。

献金と祈り

ワークブックについての説明をする。

ワーク代の件。



学びの前に

〈活動〉

※今日から新しいクラスなので、生徒がクラスに早くとけこめるような楽しい活動を考えましょう。（この中から一つか二つを選んでください）

◎部屋の飾りつけ 色画用紙をかごの形に12枚切り抜く。月毎にふさわしい花を折り紙で折ってかごに盛るように貼る。かごに誕生日と名まえを案く。（前日までに教師が用意しておいて生徒といっしょに壁に貼る）

◎暗誦聖句 いちごの形に切り抜いた色画用紙の表に聖句、裏に個所を書く。（単元毎に3組作る。単元2はりんご、単元3はメロンの形にする。）

◎ゲーム 今日の聖書の学びに関することばの頭文字と同じ旅行道具、動物などの名まえをあげさせる。（カナンのかではじまる動物など）

◎ソングシート この学期に新しくおぼえさせたい賛美をコピーしたものをノート又は色画用紙に貼りつけて、自分のソングシートを作る。



聖書の学び

〈導入〉

（乗り物の絵本を見せて）どんな乗り物に乗って旅行したことがあるか言わせる。どんな乗り物でもちゃんと行き先があります。だから、乗り物に乗るときは、自分の行きたいところに行く乗り物に乗ります。電車もバスもない、ずっと昔のアブラハムさんという人はどこへ行くか分からないのに、旅行に出かけました。どうしてでしょうね。

〈聖書の話〉

※現代の文明を示す写真を見せながらウルと比べて、その豊かさに気づかせる。

アブラハムさんが住んでいたウルという町は、とても大きな町でした。石造りの大きな建物、きれいに飾られたお店、たくさんの人々にぎわう市場には金や銀の食器やアクセサリ、おいしい果物など豊かな食品、美しくしゅうされた高価な着物などが売られていました。こんなに豊かでいい町に住んでいたアブラハムさんに、ある日、神さまは言われました。

「ウルを離れ、わたしの示す地に行きなさい」

い。」と。アブラハムさんは、すぐ「はい。」と言って、お父さんや親戚の人もいっしょに、ウルの町を出ていきました。ウルはお金持ちの町でしたが、神さまを信頼し、神さまを礼拝する人は、アブラハムさんの家族のほかはなかったからです。カランという町まで来て、アブラハムさんたちは、しばらくそこに住んでいました。でも、神さまはもう一度アブラハムさんに言われました。「わたしが示す地へ行きなさい。」と。それでアブラハムさんは旅行の準備をしはじめました。ここから先には、人はあまり住んでいないのです。泊る宿屋がありません。食べ物も買えません。それに、2度と帰ってこない旅行ですから、牛も羊も持ち物も全部持っていかねばなりません。アブラハムさんの家族は大勢です。大きなテントを丸めてらぐだに積みました。皮袋に水をいっぱいにしました。干した果物やお肉も袋にいくつも詰めました。着物も持ち物もみんな持っていくのです。たくさんの牛や羊もつれていかなければなりません。アブラハムさんたちは、毎日毎日出かける準備をしました。私たちが手伝ってあげましょう。※ここでアブラハムの旅行の準備を手伝う表現をする。交替で命令する人をきめて、その人の言う通りに動作をする。テントを丸めて大きならぐだに積む。水を皮袋に入れる。食べ物を袋に入れる。着物をたたんで荷造りするなど。

だんだん準備ができてきました。でも、いったいどこへ行くのでしょうか。友だちや親戚の人たちがアブラハムさんに聞きました。「どこへ行くのですか?」「なぜ、行くのですか?」さあ、アブラハムさんは何と答えたいでしょう。そう「神さまが“行きなさい”と言われたからです。」でも、どこへ?アブラハムさんも知りませんでした。でも、アブラハムさんは「神さまが言われた通りにするのが一番良いのです。」と言いました。神さまの言われた通りにするとき、神さまは、私たちに一番良いことをしてください。長い長い行列が進みます。アブラハムさんたちは朝早く起きて涼しいうちに歩きました。そして、暑い昼間は木陰やテントで休みました。アブラハムさんたちは毎日毎日歩いてカナンという草のいっぱい茂った美しい土地まで来たとき神さまは言われました。「あなたの子孫に、わたしはこの地を与える」と。(創12:7を読む)これは、アブラハムさんとアブラ

ハムさんの子ども、そのまだ子ども…にこのすばらしいカナンの土地をくださるという約束でした。

※ここでカナンの写真か聖画を見せて説明する。

それでアブラハムさんは、そこに祭だんを築いて、神さまを礼拝しました。神さまは神さまに言われた通りに「はい」と従ったアブラハムさんの旅行を守って、カナンの地まで無事に連れてきてくださいました。こうしてアブラハムさんは、神さまに喜ばれる礼拝ができました。



適用

◎ディスカッションをする。

?神さまに喜ばれることはどんなことか。(従うこと)

?なぜアブラハムさんは従ったのか。(一番よいと知っていたから)ワークにせりふを入れる。

◎今度は難しい質問をしますと言って、神さまを礼拝するのはどんなことかときく。

さんびする、お祈りする、聖書を読む、お話をきく、などだけですか。他にはありませんか。

◎パズルをする。

「信頼」という語が難しいので、アブラハムの例から説明し、どういうときに信頼することが難しいか話し合い、励まし、祈る。



礼拝

※紙袋人形を使った劇をします。6人の下級生の一週間の生活を通して、従うことと礼拝との関連を考えさせます。セリフはテープに前もって吹きこんでおいて、それに合わせてするとよいでしょう。

※礼拝の直前にテープ又はオルガンで静かな曲を演奏して、静かにさせて下級生に礼拝の心備えをするように導いてから、はじめましょう。

賛美 神さまを礼拝する曲

祈り 神さまを礼拝する心を備えさせてくださるよう。

聖句

お 話 「ほんとうの礼拝ができるのはだれか」

6人のお友だちのおしゃべりをききましょう。

人形① 近くの工事現場に行っただけです。お母さんに言われているのだけど、友だちがみんな行くので行って来たよ。大きな杭やブロックの数のあてっこをしたりしてとてもおもしろかった。でも危険なのでもう行かないつもりです。お母さんには内緒だよ。

人形② この棚、うまくできたでしょう。お父さんの大工道具を使うといいなあ。言われた通りちゃんと後始末もしたよ。さあ、教会学校へ行こう。

教師—この二つの人形のどちらが神さまに喜ばれましたか。

人形③ 主がついてれば…（聖歌655）を口ずさみながら—神さまは私を愛してください。うれしいな。友だちの太郎くんも神さまを信じたらいいのに。ワークブックを見せてあげたら神さまのお話ができるかもしれないな。

人形④ 今日の算数のテストで、わからない問題があったので、友だちのを見て書いてしまったの。こんな悪いことをするのに教会に行っているなんて恥ずかしいわ。だれにも知られたくないし…。

教師—どちらが、神さまに喜ばれる礼拝ができますか。

人形⑤ 先生が「後片付けを手伝って。」と言ったけど、断ったんだ。他の人はみな外で楽しそうに遊んでいるのに、ぼくだけ後片付けなんかしたくないもの。工作はおもしろかったけど。

人形⑥ 土曜日の午後、先生といっしょに教会学校の教室の飾りつけをしたんだ。とても楽しかったし、聖書の人たちが、神さまの神殿をきれいにした気持ちもわかったよ。

教師—（前と同じ質問をして）従うことと礼拝することは、どんなつながりがありますか。従うことは神を礼拝することなのです。

献 金と祈り 生活の中で神さまに従っていくことができるように。

ワークブックの答え



1. どこへ行くのか知らなかった。
2. すばらしいカナンまで連れてきてください、その土地をアブラハムさんと子孫とにくださいと言われた。



パズルをうめて信頼（従うこと）も礼拝であると気づかせる。

- ①おいのり
- ②しんらい
- ③さんび